

平成22年度

まちだのよさん

—この一冊で町田市の予算がわかる！—



まちだのよさん

もくじ

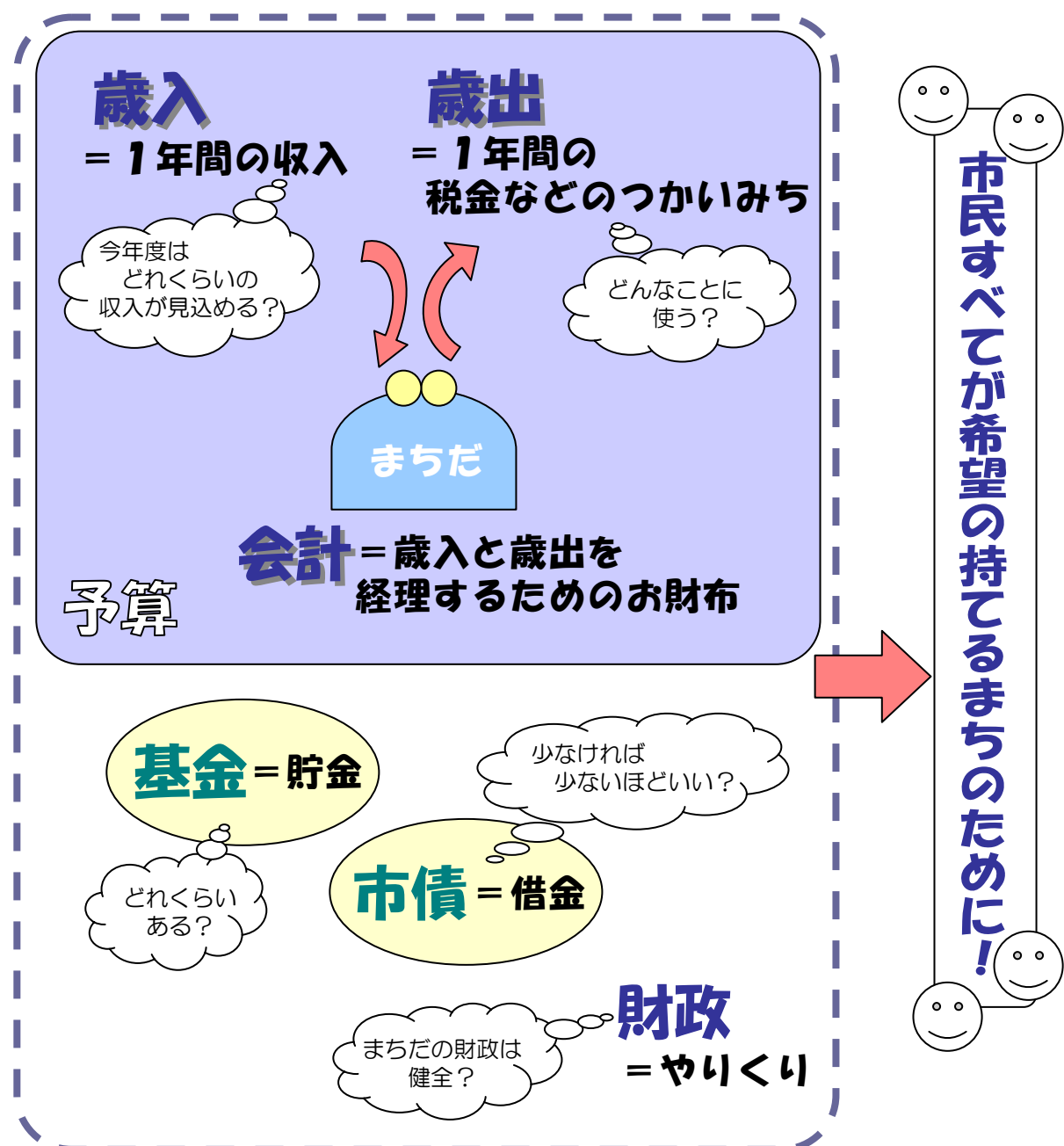
- ・「**予算**」から何がわかる？・・・・・・・・・・ **1 ページ**
ー予算についてのおはなし(その1)ー
- ・「**予算**」はどうやって決まる？・・・・・・・・・・ **2 ページ**
ー予算についてのおはなし(その2)ー
- ・**町田市のお財布の大きさはどれくらい？**・・・・・・・・ **3 ページ**
ー会計規模についてのおはなしー
- ・**町田市にはどんな収入があるの？**・・・・・・・・・・ **4 ページ**
ー歳入についてのおはなしー
- ・**税金などの収入はどう使う？**・・・・・・・・・・ **6 ページ**
ー目的別歳出についてのおはなしー
- ・**市のサービスにはどんな経費がかかっている？**・ **7 ページ**
ー性質別歳出についてのおはなしー
- ・**町田市の貯金と借金は何れくらい？**・・・・・・・・ **10 ページ**
ー積立金と市債についてのおはなしー
- ・**町田市の財政状況はどうなっているの？**・・・・ **11 ページ**
ー財政状況についてのおはなしー
- ・**町田の未来をつくる！**・・・・・・・・・・ **12 ページ**
ー平成22年度の事業についてー
- ・**もっと予算や財政について知りたい場合は？**・ **15 ページ**

国や地方公共団体は、新しい年度が始まる前にこの先1年間の収入と支出の見積りをします。これを「**予算**」といいます。興味がない？わかりにくい？
まあ、そう言わず、一緒に「まちだのよさん」をのぞいてみましょう！

「予算」から何がわかる



まちだの人と地域がもっと元気になるために、どのような形で市民のみなさんに納めていただいた税金が使われていくのかがわかります。

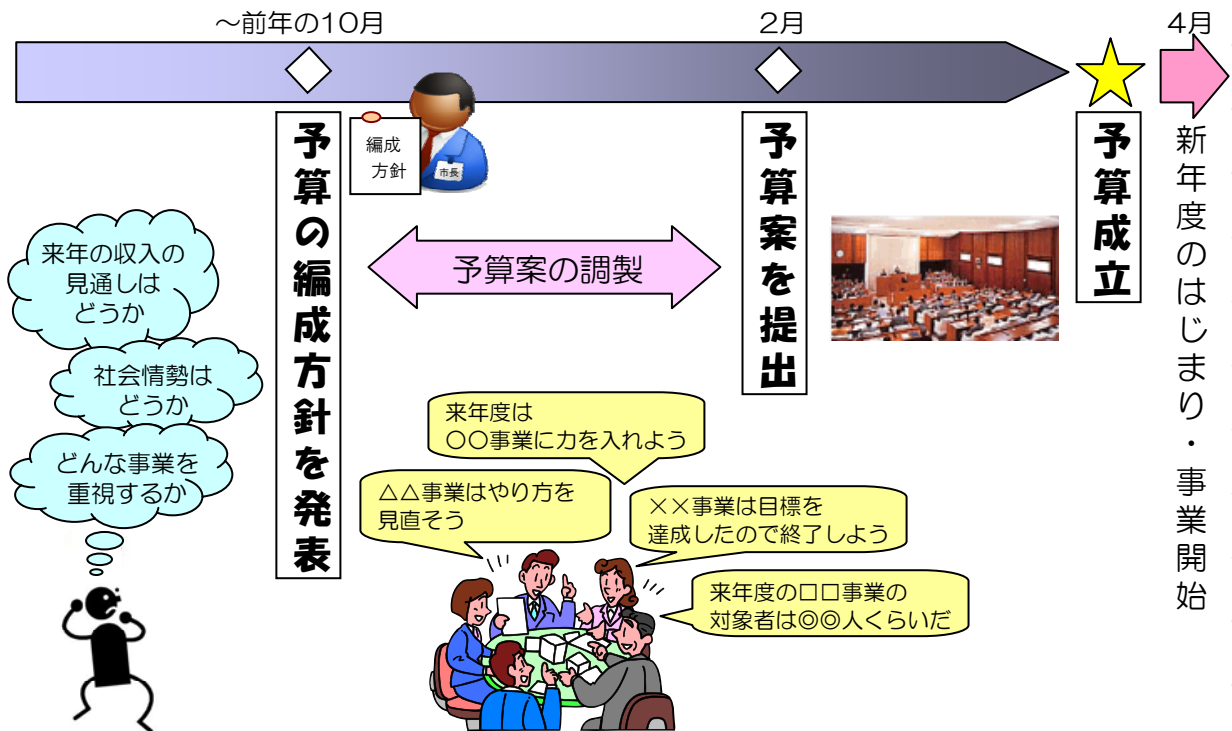


「予算」はどうやって決まる



市長は前の年の夏ごろから予算案の検討を始め、新しい年度が始まる前に議会に予算案を提出します。予算は、市民の代表である議会の議決により成立します。

予算が成立するまでの流れ



①新年度予算の編成方針を決定します

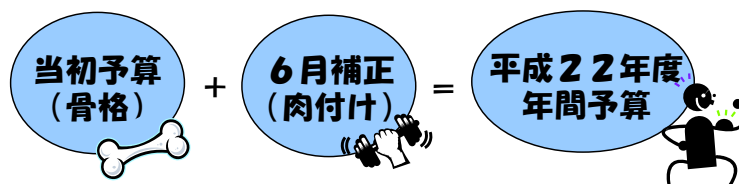
②来年度に実施する具体的な事業とその経費、財源を「予算案」に反映していきます

③市長が予算案を提出し、議会で予算案を審議します



「ホネ」と「ニク」のはなし

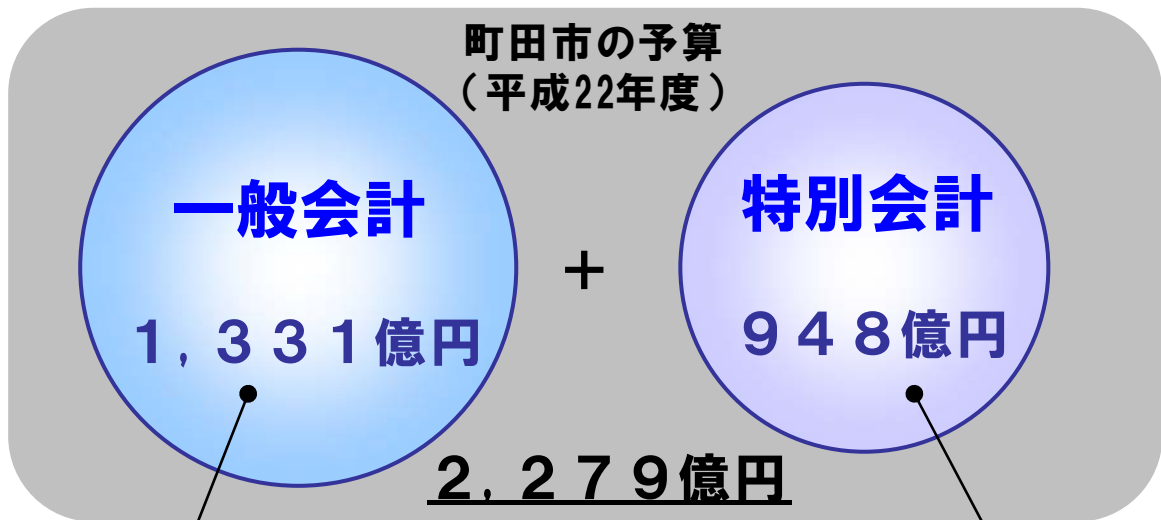
2月に市長選挙が行われたことから、経常的な市民サービスや継続事業を中心に編成した**当初予算（骨格予算）**と、町田の未来をつくるための新規事業や拡充事業など、市長の政策を反映した**6月補正予算（肉付け予算）**を合わせた総額が平成22年度の年間予算になります。



町田市のお財布の大きさはどれくらい



一般会計は1,331億円
特別会計も合わせた全体では2,279億円です。

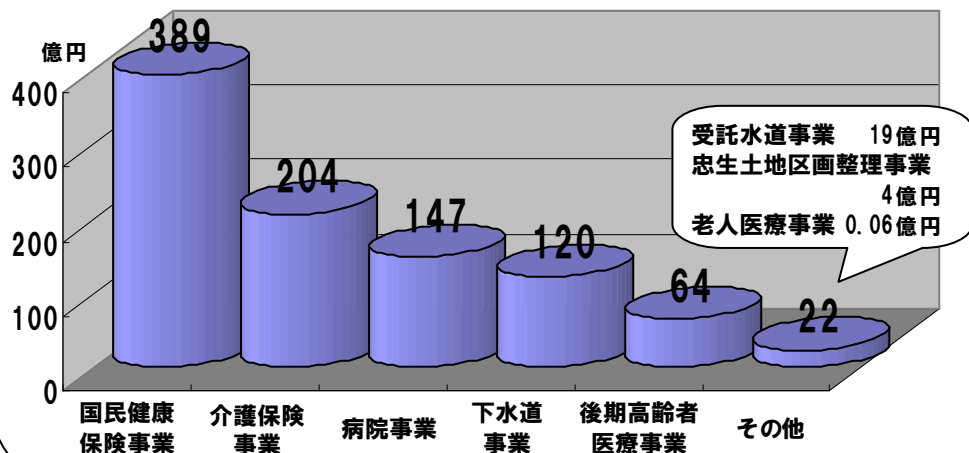


一般会計とは？

通常、市の行政サービスは一つの大きなお財布で経理を行っています。この会計を「一般会計」といいます。一般会計のお財布では、主に市税（市民税や固定資産税など）が使われています。

特別会計とは？

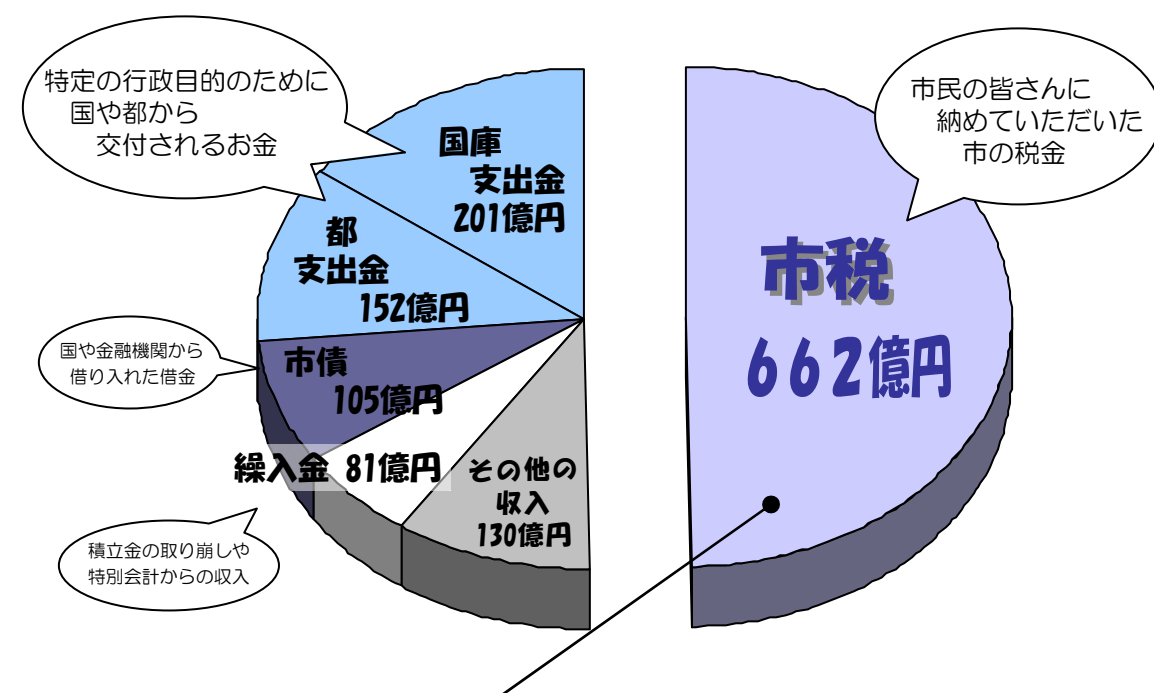
特定の目的を持った事業を行う場合や、下水道料金のような特定の収入をもって事業を行う場合に、一般会計と収支をわけて経理する会計です。



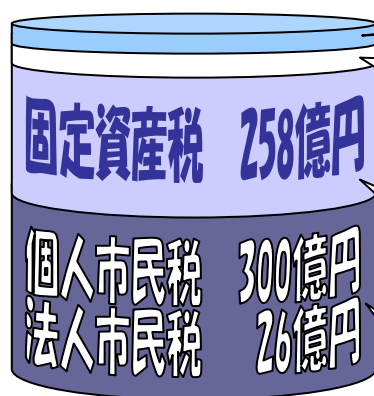
ここからは「**一般会計**」についてのおはなしです。
 一般会計は市の行政サービスを経理する大きな財布です。この財布は主に市民のみなさんに納めていただいた税金によってまかなわれています。

町田市にはどんな収入があるの？

！ 主な収入は市の税金です。
 そのほか国や都からの収入や繰入金、借入金などがあります。



市税の内訳は・・・



その他の市税 30億円

たばこの購入に対して課税される「**たばこ税**」や、大都市の事業所などに課税される「**事業所税**」などがあります。

都市計画税 48億円

市街化区域内の土地や家などを持っている人に課税されます。

土地や家、マンションなどを持っている人に課税されるのが「**固定資産税**」です。

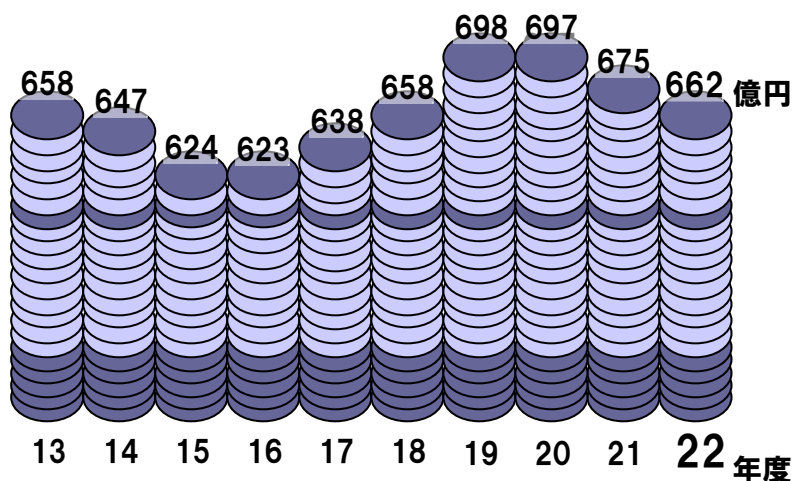
個人の所得などに応じて課税されるのが「**個人市民税**」、市内の会社（法人）の収入などに応じて課税されるのが「**法人市民税**」です。

市税収入はなぜ減ったの



個人所得の落ち込みや企業収益の悪化に伴い市民税が減っているため市税収入は減る見通しです。

市税収入の推移



景気と市税の関係

市民税は個人や市内の会社の所得（収入）でその金額が決まるので、景気が悪化してそれぞれの所得が減ると市税収入も減ってしまいます。

また、固定資産税は土地や家の値段で決まるので、土地の値段が下がると市税収入が減り、開発等で家屋が増えた場合には増えます。

景気に左右されるということは収入として不安定な面もあり堅実な使い方が必要とされます。

市債＝借金なら借らないほうがいい



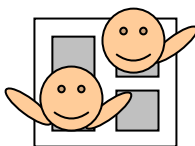
公共施設などをつくるための高額資金を「長期ローン」として借り、将来施設を利用する市民との費用負担を公平にしています。

市債の役割

道路や公園、学校など大きな公共施設をつくるにはたくさんの資金が必要なので、整備する年度だけで支払うと市の他のサービスができなくなってしまいます。また、つくった施設は長年にわたって利用できるため、現在の市民だけでなく将来の市民にもその経費を負担してもらうことが「世代間負担の公平」につながります。

ただし、借金であることに代わりはありません。将来の負担が重くなりすぎないように計画的な借入を行っています。

平成22年度の市債

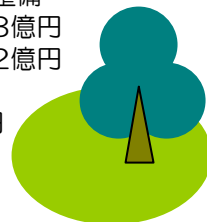


新庁舎建設・・・31億円
鶴川駅前公共施設整備・・・3億円
保育園整備・・・2億円
小中学校施設整備・・・10億円

緑地用地購入・・・2億円
公園整備・・・14億円



ごみ処理施設整備・・・1億円
消防施設整備・・・1億円
道路整備・・・4億円
臨時財政対策・・・37億円



税金などの収入はどう使う



市民すべてが希望の持てるまちの実現に向けて、
福祉や教育、まちづくりなどさまざまなことに使われています。

平成22年度予算 1,331億円のつかいみち

子どもや障がい者、高齢者など
市民の福祉のために

民生費 576億円

市政の運営のために

総務費 216億円

小中学校や
文化、スポーツなど教育のために

教育費 157億円

道路や公園、区画整理など
まちづくりの基盤整備のために

土木費 141億円

市民の健康や
よりよい生活環境のために

衛生費 113億円

市が借りた市債の返済のために

公債費 61億円

災害被害の防止や軽減のために

消防費 46億円

産業の発展や議会の運営のために

商工費・議会費
農林費・労働費 など 21億円

市のサービスにはどんな経費がかかっている



人件費や事務経費だけではなく、生活の向上のため市民に直接支出する経費や公共施設の整備費、市債の返済などがあります。

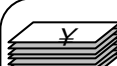
義務的経費



人件費 248億円

職員の給与や諸手当、議員や委員の報酬など人にかかる経費

職員1人当たりの
平均給与月額
(一般行政職)
448,265円



公債費 61億円

過去に借りた市債の
元金と利子の返済に
かかる経費



扶助費 344億円

児童手当や保育園入所費、
障がい者自立支援給付、
生活保護費など、社会保障の
一環として生活の向上のために
市民に対して支出する経費

1,331億円
のつかいみち
見方を
変えると

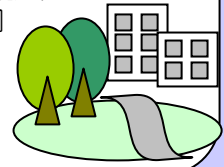
毎年の支出が必ず必要で
減らすことが難しい経費

将来の資本の形成に
つながる経費

義務的経費・投資的経費
以外の経費

普通建設事業費 187億円

市民が利用する施設や
学校、道路、公園
などの整備に
かかる経費



投資的経費

物件費 199億円

市がサービスを提供するため
にかかる事務経費や、公共施設の
管理運営にかかる経費



その他 17億円

施設の修理費や
基金への積立金など

補助費等 114億円

広域での廃棄物処分のように
他の市と合同で行うサービス
に対する負担金や、
特定の事業を推進
するための補助金

繰出金 161億円

一般会計から特別会計への
支出



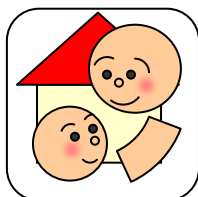
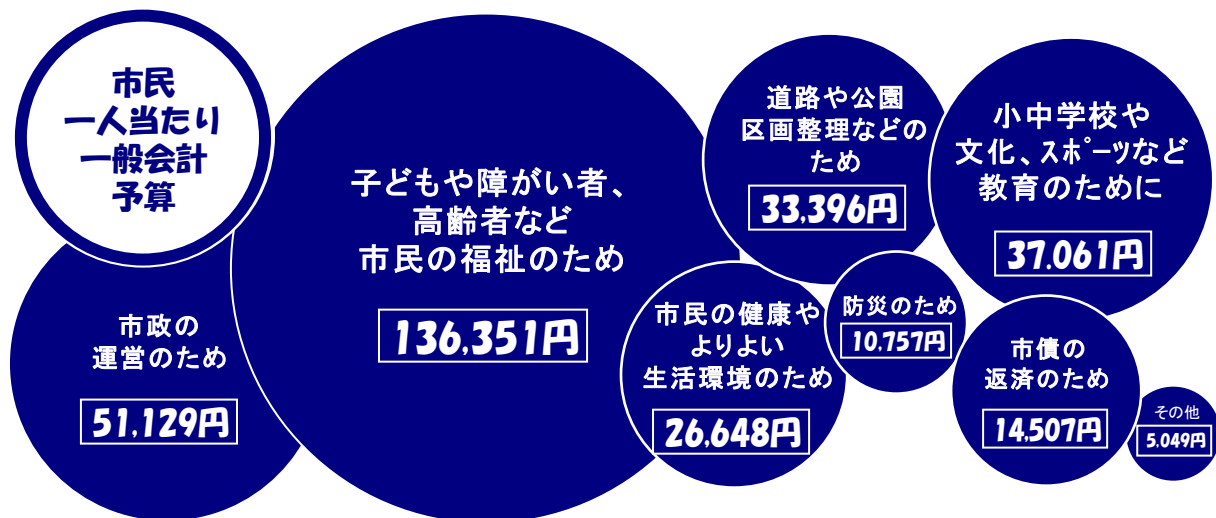
その他の経費

予算をもっと身近な数字であらわすと



一般会計を市民一人当たり（※）に換算すると314,898円です。
ただし、予算のつかいみちの中には特定の人を対象のものもあります。

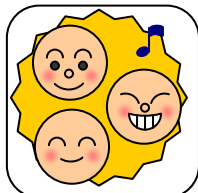
（※）平成22年1月1日現在人口 422,700人 から算出



保育園の運営

保育園に通っている園児一人当たり
1,606,353円

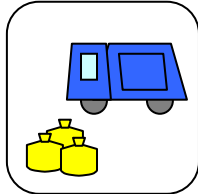
保護者の負担	207,109円
国・東京都の負担	623,743円
その他の収入	4,785円
市の負担	770,716円



学童保育クラブの運営

クラブに通っている児童一人当たり
361,637円

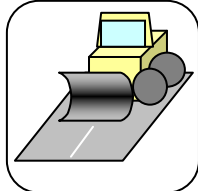
保護者の負担	62,376円
東京都の負担	92,227円
その他の収入	67円
市の負担	206,967円



ごみの処理

市民一人当たり
15,240円

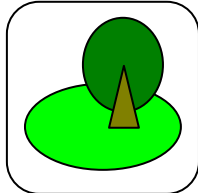
ごみを出した人の負担	2,763円
資源化物の売却・基金の活用	1,669円
その他の収入	499円
市の負担	10,309円



道路の整備・維持補修

市民一人当たり
14,986円

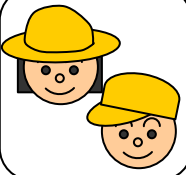
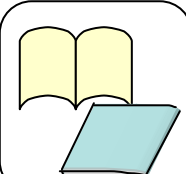
国・東京都の負担	3,829円
市債の借入	875円
その他の収入	1,287円
市の負担	8,995円



公園・緑地の整備・維持管理

市民一人当たり
8,474円

国・東京都の負担	1,393円
市債の借入	3,278円
使用料・基金の活用など	200円
市の負担	3,603円

	小学校の運営 (先生の人件費は含みません) 児童一人当たり 184,078円	国・東京都の負担 4,371円 その他の収入 4,366円 市の負担 175,341円
	中学校の運営 (先生の人件費は含みません) 生徒一人当たり 177,845円	国・東京都の負担 5,746円 その他の収入 77円 市の負担 172,022円
	図書館の運営 市民一人当たり 2,811円	コピー機使用料など 15円 市の負担 2,796円
	体育施設の運営 市民一人当たり 1,188円	市の負担 1,188円 ※使用料は指定管理者の収入として扱われています



まちだのよさんを1万分の1の数字でみると・・・

市にはいろいろな収入や支出があり、普通の家庭とその種類や内容が違っていますが、予算を家計簿としてたとえると次のような感じです。

収 入		支 出	
給与	766 万円	食費（人件費）	248 万円
基本給（市税）	662 万円	医療費（扶助費）	344 万円
諸手当 （国・都支出金、各種交付金 など国や都の税金から交付 されるお金）	104 万円	光熱水費・日用品代など （物件費など）	327 万円
		車の購入や家の増改築 （投資的経費）	187 万円
不動産収入 （使用料や財産収入など）	360 万円	貯金への積立（積立金）	3 万円
貯金の取崩し（繰入金）	81 万円	ローンの返済（公債費）	61 万円
ローンの借入れ（市債）	105 万円	子どもへの仕送り（繰出金）	161 万円
その他の収入 （繰越金・諸収入など）	19 万円	支出合計	1,331 万円
収入合計	1,331 万円		

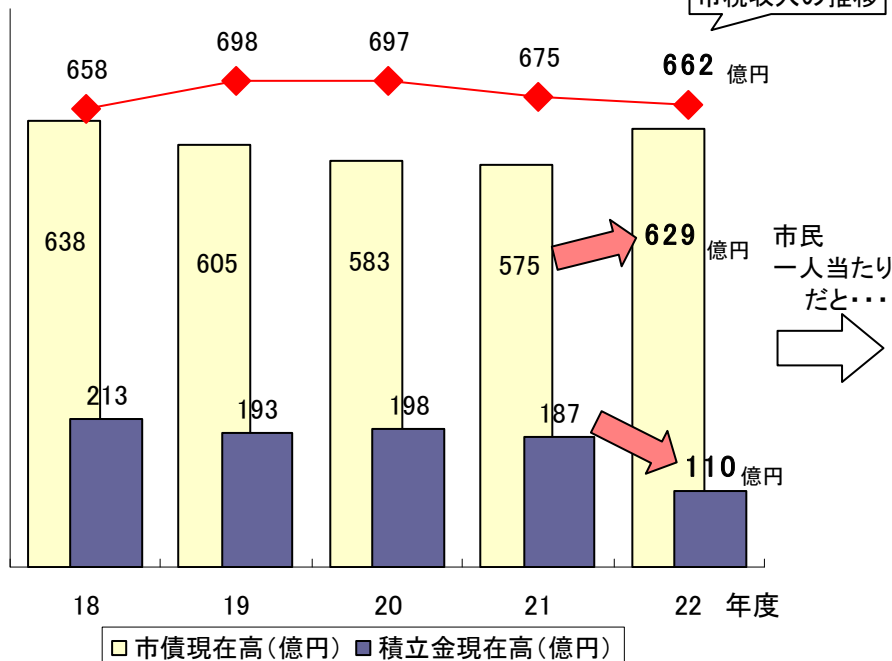
町田市の貯金と借金はどれくらい



一般会計では、22年度末見込での積立金（貯金）残高が110億円、市債（借金）残高が629億円です。

積立金残高（貯金）と市債元金残高（借金）の推移

（参考）
市税収入の推移



ローンの残高

148,714円

（平成22年度末見込）

貯金の残高

25,930円

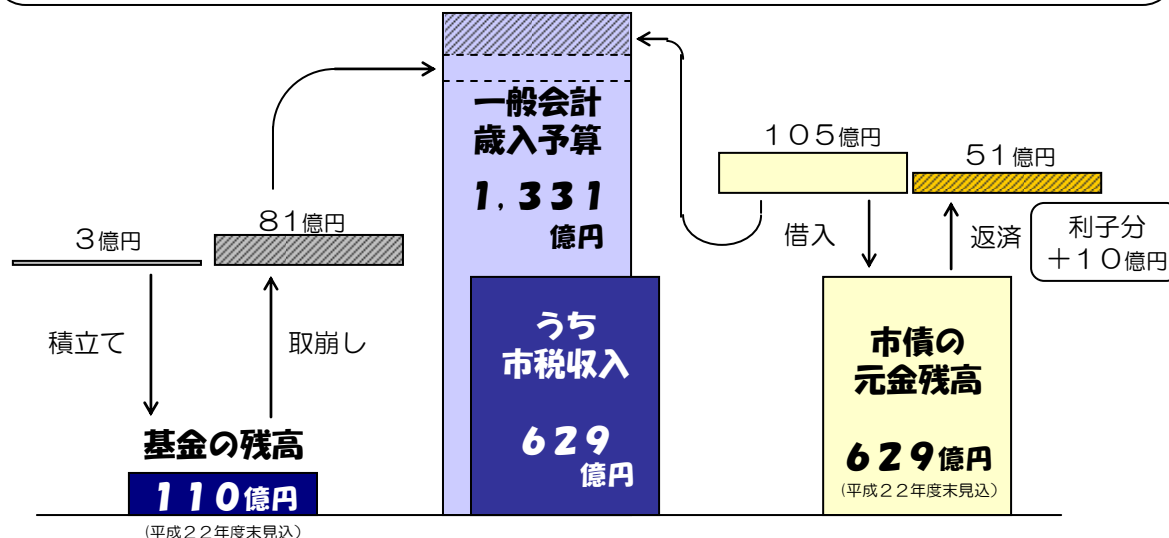
（平成22年度末見込）

□市債現在高(億円) ■積立金現在高(億円)
※平成20年度までは年度末残高、平成21・22年度は年度末残高見込額

町田市のやりくりを家計にたとえると・・・

基本給（＝市税）629万円の世帯が、車や住宅の購入などで5～20年のローン（＝市債）を組んでいる状態です。今年のローン返済額は元金と利子をあわせて61万円、その一方で新しく105万円のローンを組むため、年度末のローン残高は629万円です。

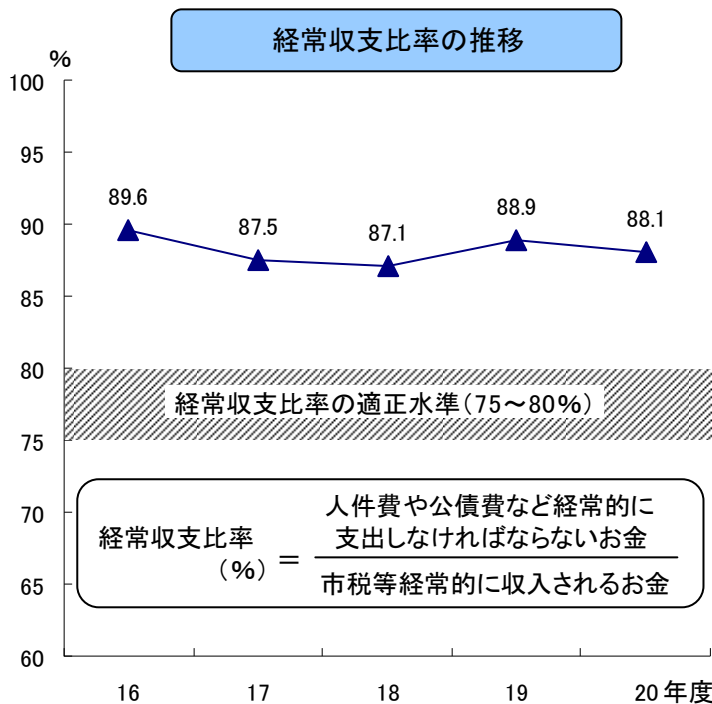
また、貯金（＝基金）は1年間に81万円を取り崩し、3万円を積み立てることで、年度末に110万円が残ります。



町田市の財政状況はどうなっているの



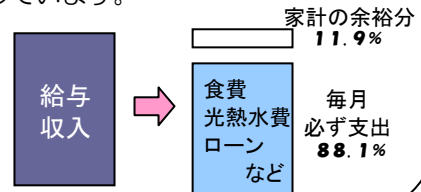
黒字が続いていますが、入ってくる収入に対して毎年必要とされる支出が大きな割合を占めており、財政的な余裕が少ない状況です。



経常収支比率について

家計にたとえると、毎月の給与収入に対して、食費や光熱水費、ローンの返済など毎月支出が必要な経費がどれくらいの割合かを示すものです。

経常収支比率の適正水準は75~80%といわれていますが、**町田市は80%台後半**の数値が続いています。**経常収支比率が高い状態はそれだけ自由に使えるお金が少ない状態**なので、適正水準と比べて今後の財政需要に柔軟に対応する財政的な余裕が少ないことをあらわしています。

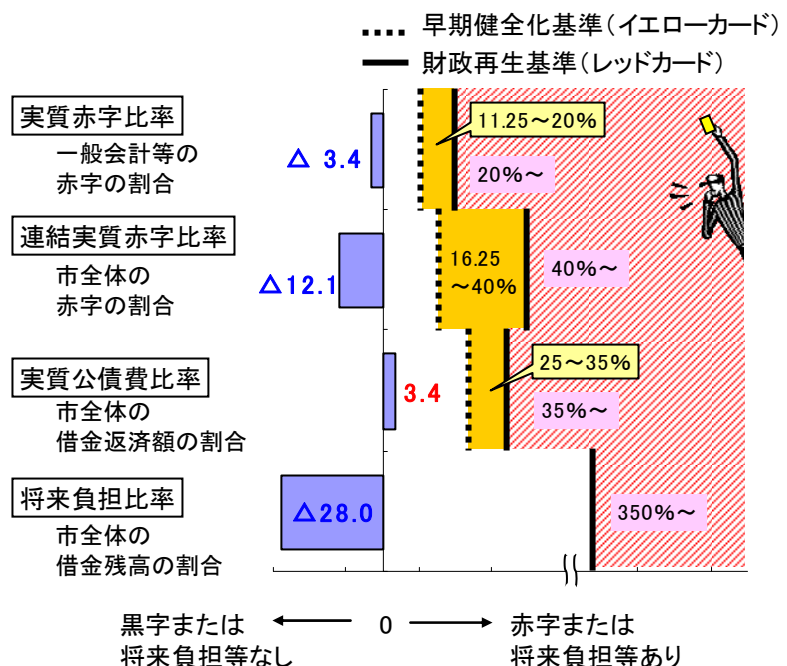


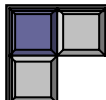
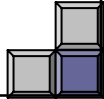
市財政の破たん状態とは？

市の赤字の額や借金の金額、借金の返済額がある程度大きくなってしまうと、「イエローカード」や「レッドカード」が出され、市の財政が破綻しそうな、または破たんした状態になったとみなされます。この財政状況をはかる4つのモノサシを「健全化判断比率」といいます。

町田市の健全化判断比率は、「イエローカード」「レッドカード」の基準を下回っており、「**財政健全化団体**」「**財政再生団体**」になる状態ではありません。

町田市の健全化判断比率(平成20年度)




 おおまかな予算と財政のつくりについてはおわかりいただけましたか。
 ここからは、平成22年度のまちだの人と地域をもっと元気にするための
 具体的な方法（事業）についてみていきましょう。
 



町田の未来をつくる！



平成22年度は、「町田の未来をつくる」をテーマに、『変化する社会情勢への迅速な対応』、『将来の町田への投資』、『選択と集中による「今すべきこと」の重点的な実施』の3つの視点で市政運営を進めていきます。



暮らしの安心・安全をつくる



次の時代を担う子どもたちを地域全体で育てていく子育て・子育て支援に取り組むとともに、誰もが安心して安全に暮らせるまちづくりを進めます。主な事業は次のとおりです。

子育て・子育て支援

○保育所待機児の解消	○小山中学校の新設
630,846千円	1,294,400千円
○学童保育クラブの開所時間を延長	○市立小中学校の耐震補強
60,327千円	687,027千円
○私立幼稚園への入園促進	○快適な学校生活のために
29,590千円	6,300千円
○認定子ども園の設置促進	○小中一貫校の整備
83,836千円	11,500千円
○ヒブワクチン予防接種費用助成	○3人乗り自転車の普及促進
13,655千円	18,416千円
○忠生地区子どもセンター整備	○子ども手当の支給
11,393千円	7,318,479千円
	○父子家庭への児童扶養手当の支給
	26,302千円

安心して、安全に暮らせるまちづくり

○繁華街に防犯カメラ設置	○障がい者の地域生活を支援
15,000千円	21,567千円
○防災無線デジタル化	○地震時の建築物による道路閉鎖を防止
3,400千円	
○高齢者の地域生活を支援	3,600千円
1,226,220千円	



夢のあるまちづくり



活力あるまちをつくるため、文化・芸術やスポーツによる夢のあるまちづくりを進めます。主な事業は次のとおりです。

文化・芸術によるまちづくり

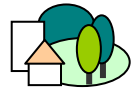
- 鶴川駅前公共施設整備
532,899千円
- 文化関連施設の在り方の検討
3,834千円
- 旧永井家住宅の保存
8,510千円
- 忠生市民センター、成瀬センター、
玉川学園文化センターの建替えを検討
10,600千円

スポーツによるまちづくり

- 地域スポーツクラブの普及を支援
19,759千円
- スポーツアワードを開催
1,000千円
- スポーツを観て楽しむ環境づくり
1,476,678千円
- スポーツ施設整備計画策定
3,000千円



環境先進都市をつくる



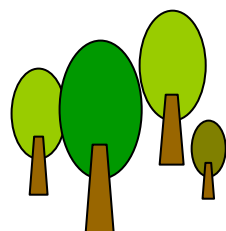
市民と行政が協働して環境を守る活動に取り組んできた歴史とみどりの資源を活かした環境先進都市となるため、地球温暖化の防止に取り組むとともに、みどり豊かなまちづくりを進めます。主な事業は次のとおりです。

地球温暖化対策

- 自然エネルギー活用への助成
31,600千円
- 電気自動車の社会実験
27,872千円
- 校庭の芝生化
98,500千円
- 自転車利用の促進
14,000千円

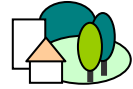
みどり豊かなまちづくり

- 公園緑地の整備
602,354千円
- 景観の保全
3,000千円





地域経済の活性化と行政経営改革



町田市がいつまでも元気なまちであり続けるために、地域経済を活性化し、行政経営の更なる改革を進めます。主な事業は次のとおりです。

町田を元気にする地域経済の活性化

○観光情報の発信	20,579千円
○公衆トイレ計画の推進	2,804千円
○ものづくり産業を支援	2,061千円
○コミュニティビジネスの 普及・促進を支援	3,377千円
○公共交通の利便性の向上	7,500千円
○町田まちづくり公社への出資	300,000千円
○新庁舎建設	5,532,262千円

中長期を見据えた行政経営改革

○新中長期計画の策定	30,478千円
------------	----------

「まちだのよさん」は予算をわかりやすく伝えるため、600ページを超える
 予算書の一部を紹介したものです。この冊子を手にとっていただいたことを機に
 「もっと予算や財政について知りたい!」と思っていただければさいわいです。

もっと予算や財政について知りたい場合は



町田市では、予算書の閲覧・販売のほか、
 予算や財政状況についての情報提供を行っています。

区分	資料名	説明	市政情報やまびこ		市内 各図書館 での閲覧	広報まちだ への 掲載	町田市 公式Web サイトへの 掲載
			閲覧	販売・配布			
予算	予算書	市議会で「予算案」として 審議され議決される、予算 に関する説明書です。	○	有料	○		
	予算の概要	予算の全体的な状況や予算 にあられる市の特長的な 事業を説明した資料です。	○	無料	○	※一部を 抜粋	○
	部・局別 予算の概要	組織別に予算の概要をまと めた冊子です。	○		○		○
財政 状況	町田市の 財政	前年の決算の数値を用いた 年度間比較、他市比較など により町田市の財政状況を 説明した冊子です。	○	有料	○		○
	まちだの 市税の つかいみち	一般会計の前年度決算の状 況を「市税のつかいみち」 という視点でまとめた冊子 です。	○	無料	○		○



町田市公式Webサイト
<http://www.city.machida.tokyo.jp>
 でご覧いただけます（PCのみ）

町田市公式Webサイトでは、
 ここで紹介したほかにも
 財政状況についての資料を
 随時追加・更新しています！

予算や
 財政状況の
 情報提供は
 ここから！

市政情報

- 市役所の紹介
- 市の取り組み
- 市の航空機騒音
- 新庁舎計画
- 情報公開・個人情報
- 市の行財政
- 審議会等の動き

- よくある質問(FAQ)
- 市へのご意見
- パブリックコメント
- 広報TV「まちテレ」
- アンケート
- メール配信サービス

平成２２年度 まちだのよさん

発 行 者 町田市
住 所 〒１９４－８５２０
東京都町田市中町１－２０－２３
電 話 ０４２－７２２－３１１１（内線２１３１～６）
発 行 日 平成２２年７月
編 集 町田市役所財務部財政課

庁 内 印 刷

刊行物番号 : １０－２２